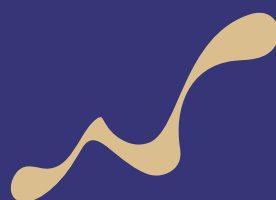




リニューアル記念号
西台クリニック・会報
2009



NISHIDAI CLINIC
DIAGNOSTIC IMAGING CENTER
西台クリニック 画像診断センター



- [ご挨拶] リニューアルに当たって ————— 2
- [特別対談] 大病から学ぶ「健康管理法」 — 4
山川 静夫 (元NHKアナウンサー)
済陽 高穂 (西台クリニック院長)
- [施設のご案内] ————— 6

がんの早期発見に これまでの蓄積と探求により、 精度の高い検診を提供いたします

「定期的な検診」と未病対策「食生活改善」で、
健康づくりをサポートします。



わた よう たか ほ
院長 済陽 高穂

Profile

1970年千葉大学医学部卒業後、東京女子医科大学消化器病センターに入局(中山恒明教授)。73年に米国テキサス大学外科教室に留学、91年より東京女子医科大学外科助教授。都立荏原病院外科部長、都立大塚病院副院長を経て、2008年西台クリニック院長就任。30年間に4000例以上の手術を行い、そのうち2000例が消化器がん。術後の再発予防目的に、食事療法の研究を行い、現在は指導も行っている。著書に『今あるガンが消えていく食事』(マキノ出版)など。

2 008年11月に、約4万人のPET検診の実績を有する「西台クリニック」を引き継ぎ、新体制のもと、従来の「がん検診」に加え、脳卒中や心臓疾患などの検診にも力を入れて、再出発いたしました。

PET(陽電子放射断層撮影)は、がん細胞の活動状態を知ることができる最先端の診断装置です。CT(コンピュータ断層撮影)やMRI(核磁気共鳴画像)などの検査においても、医療技術の革新的な進歩により、微細ながんや血管の病変まで適確に捉えられるようになりました。

消化器外科医として、進行がんの患者さんの治療をライフワークとしてきましたが、がんは「慢性の栄養・代謝疾患」であるために、3大療法(手術、抗がん剤、放射線)の限界を痛感しております。このため、がんの予防、あるいは、がんの効率的治療には、「定期的な検診」による早期発見と「食生活改善」などで病気を未然に防ぐことが重要です。また、がん罹患した場合には、がんの3大療法と共に、食事療法(栄養・代謝療法)を行えば、治療成績が向上することは、私自身の研究で明らかになりつつあります。

当院には、日本人の死因の6割を占める三大生活習慣病である「がん」、「脳疾患」および「心臓病」を早期診断するためのノウハウが蓄積されていますが、より確実でより精度の高い検診を提供するため、スタッフ一同、日々研鑽を積んでおります。皆様の健康づくりのパートナーとして、西台クリニックをご利用いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

理念

高精度画像による早期がん診断
新しい予防医学の推進
総合的がん診療への貢献

安心・安全で質の高い検査・診断の提供に貢献してまいります。

約 半年間の休業の後、西台クリニックは、新院長・済陽高穂先生(消化器外科のがん専門医)のもと、再スタートいたしました。大変急な出来事で、2000年からご受診いただいた4万人以上の皆様方には、大変ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

新体制におきましても、早期に病巣・疾患を発見することを目的としてまいります。①腫瘍マーカーなどの検査項目を大幅に増加し、②経験・実績のある核医学専門医の、読影技能をさらに磨き、診断の質の向上に一層力を注いでいく所存です。

新しい院長を中心にして、健全な経営を心掛けるべくスタッフ一同、頑張りますので、これまで以上のご愛顧をお願い申し上げます。

名 誉顧問に、国立がんセンター中央病院名誉院長であり、放射線医学の第一人者である市川平三郎先生。特別顧問に就任していただいています小幡裕先生は、長年、東京女子医大消化器病センターに勤務されておりました。これまで通りに豊富な診療経験に基づいた面談を担当してまいります。



特別顧問(前 院長)

宇野 公一

有力な顧問による バックアップ体制



特別顧問
小幡 裕

(東京女子医科大学 名誉教授)



名誉顧問
市川 平三郎

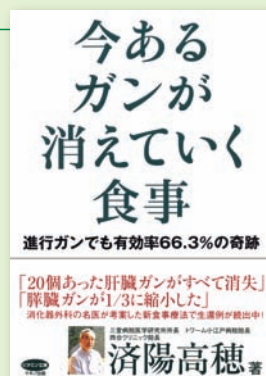
(国立がんセンター 名誉院長)

がんの食事療法指導

[予約申込み] **03-5922-0700**

[受付時間] 火～土曜 **10:00～17:00**

『今あるガンが消えていく食事』をお読みになって、院長による「がんの食事療法指導」を希望されるがんの患者様・ご家族様のための「受付窓口」を設けております。当院での受診は、がんの患者様が「食事が摂れること」、「ご本人の受診が可能であること」を基本とし、受診予約時に診療情報提供書をお送りいただいております。詳細はお問い合わせください。



進行ガンでも有効率66.3%の奇跡

「20個あった肝臓ガンがすべて消失」
「脾臓ガンが1/3に縮小した」
消化器外科の名医が考案した新食事療法で生還例が続出中!



済陽高穂 著

大病に学ぶ 「健康管理法」

山川 静夫

元NHKアナウンサー

済陽 高穂

西台クリニック院長



Profile

山川 静夫 ● やまかわ・しずお

1933年静岡県生まれ、50年國學院大學卒業後、NHK(日本放送協会)に入局。アナウンサーとして、「ひるのプレゼント」「邦楽百選」、生活科学番組「ウルトラアイ」などを担当。「紅白歌合戦」の白組司会を9年連続務め、NHKを代表する人気アナウンサーとして活躍。94年にNHKを退職、現在はフリーアナウンサーとして活躍するほか、エッセイストとして著述・講演活動を行っている。大病をした経験は、淡交社刊『花舞台へ帰ってきた』(人間国宝の文楽人形遣いである吉田簀助との共著)に詳しい。

N HKのアナウンサーとして人気を博した後、現在はエッセイストとして活躍中の山川静夫さん、9年前に患った腸閉塞の手術を、済陽高穂院長が執刀したのをきっかけに、お二人の交流が続いています。西台クリニックのリニューアルに際し、院長と山川さんとの対談が実現しました。

❖ 三大生活習慣病からの奇跡の生還

済陽 おひさしぶりです。ますますお若く、お元気そうで。

山川 先生に腸閉塞を治していただき、心臓病と脳梗塞も乗り越って、もう喜寿になりますが、おかげさまで元気です。

済陽 その三つの大病を半年の間に経験されたのでしたね。

山川 定年退職後の自由な生活を、よくない方向で満喫したのが間違いでした。夜はビールをがぶ飲みし、寿司をたらふく食べ、野菜は食べない、運動不足と

いう生活で、体重はたちまち77kgとなり、血圧や血糖値も上がり、今でいう「メタボ」となりました。そして、突然の脳梗塞です。

マヒなどは残らなかったのですが、思うように言葉が出ない「失語症」が残りました。長年、話すことを仕事にしてきたので、ショックでしたが、がんばれば必ず元に戻れるという希望を持って、リハビリに励みました。そのかいあって、徐々に言葉が戻ってきました。ところが、退院後まもなく心不全となり、それを乗り越えた3ヶ月後に腸閉塞を起こしました。

済陽 それで、当時、私の勤めていた荏原病院に緊急入院されたのでした。

山川 腸を30cm切る大手術をしていただき、おかげで三つめの大病からも生還できました。入院中、病院食をとっていると、どんどんやせて60kgとなりました。すると、血圧や血糖値まで正常化したのです。それで、食事管理が体にとっていかに大切か、つくづく思い知らされました。

◆ 菜食中心、ヨーグルトも必須

済陽 退院後の食事指導もさせていただきましたが、最近はいかがですか？

山川 教えていただいた基本は今も守っていますよ。

野菜は、鍋物や温野菜を中心に、人参、大根、ゴボウ、じゃが芋など、たくさん食べています。きんぴらやおでん、野菜をたっぷり入れた薄味のシチューなどもよく食べますね。肉類は控えめにして、少量の魚と豆腐や豆類をとっています。

味付けは、塩やしょうゆを少しだけ。代わりに、レモン汁や酢を活用します。たとえば、焼きたての鶏肉にレモン汁をジュッとかけると、塩なしでおいしく食べられます。それから、ヨーグルトは、低脂肪のものを毎日1カップ食べています。ほかに、ニンニクのサプリメントも、青森から取り寄せてとっています。食生活の軌道修正をしてから、とても体調がよくなりました。一病ではなく、「三病息災」です。

◆ 散歩と歌舞伎でストレス解消

済陽 すばらしいですね。運動もされているのですか？

山川 朝4時半に起き、1時間の散歩を必ず行います。家内も一緒に、もう9年続いています。ストレスが解消でき、おなかもちょうど、ご飯がおいしくていいのですが、ここで食べ過ぎるといけないので、ぐっとこらえて、小食にしています。

済陽 ストレスの解消には、歌舞伎のかけ声もよさそうですね。

山川 そうですね。僕らは一等席には座らず、三階から「音羽屋！」とか「成駒屋」などと声をかけます。この「声を出す」のが、とてもいいんですね。退職後、声を出さなくなって、「気力が衰えて」という仲間もいますが、かけ声はピリッとして気力がわきます。

◆ 目覚しい医療技術の進歩

山川 僕はかつて、NHK番組『ウルトラアイ』の中で、最先端だった「CT（コンピュータ断層撮影）」を紹介し、荏原病院に入院したときは、「MRI（核磁気共鳴画像）」検査を受けました。さらに今は、全身のがん細胞が、きわめて初期からわかる「PET（陽電



子放射断層撮影）」という検査法が注目されているそうですね。

済陽 PETは、がんの診断法としては最先端で、これを広く検診に使うようになれば治療法の進歩、食事療法の普及とあわせて、がんの治癒率は飛躍的に上がるはずです。

山川 僕は常々、病気を治すには「運と医術と気力」の3つが必要だと思っています。これらに食生活の改善が加われば、がんに限らず、幅広い病気の効果的な予防・治療ができそうですね。

また、最近、「人生は出入りだ」という考えるようになりました。人は食べて出す、呼吸は吸って吐く、頭は情報をインプットして働かせ、役立てる。これらの「出入り」がスムーズなら、イキイキ健康でいられるのではないのでしょうか

済陽 本当にそうですね。今日はありがとうございました。

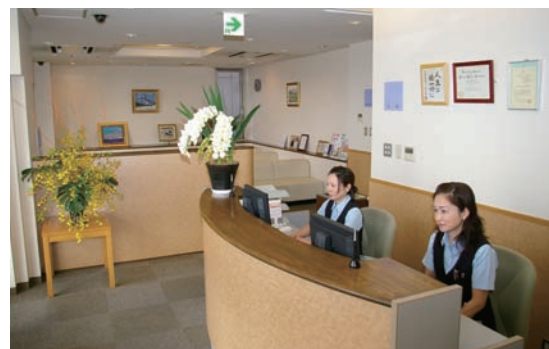
(『安心』2009年6月号掲載記事を再構成)

最大級の検診実績から 生まれる——確かな診断

新たに「食生活改善指導」をスタート



1階ロビー



4階受付

西 台クリニック画像診断センターは、新しい経営陣の下、旧院システムを引き継ぎ*、経験豊かな現場スタッフとともに再出発いたしました。

*個人情報保護法令に従い、2000年開院以来、受診者のすべての検査記録を厳重に管理しております。

検診当日は、担当者が皆様をご案内いたしますが、今号ではリニューアルした西台クリニックの特徴をお伝えするために、「がん総合コース（面談あり）」の流れを写真とともにご紹介いたします（全行程は約4時間）。

- 約4万人の検診実績と経験を
- 積み重ねてきたスタッフが、
- これまでどおり皆様をお出迎えいたします。

来院・受付: 総合受付（4F）にて、お名前と検診内容を確認させていただきます。受付を終えると、同フロアの更衣室で着替えて頂きます。

問診・説明: 医師の問診と検査についての説明をお受けいただいた後、基本診断室で、身長・体重・血圧などを測定します。

脈波測定: 4ヶ所の血圧を測定し、血管の状態を調べること、動脈硬化の進行度合いを測定。

超音波・CT・MRI: 3Fにて超音波検査・CT検査・MRI検査を受けて頂きます。

薬剤投与: 生化学検査に必要な採血後、2階の処置室で、FDG（がんを見つけるためのブドウ糖に似た薬剤）を注射します。FDGが体内に満遍なく行き渡るまでの40～60分間は待合室で安静にして頂きます。

PET検査: PET検査室で断層撮影を開始（約30分）。

- 熟練した核医学専門医が
- 読影を担当しております。

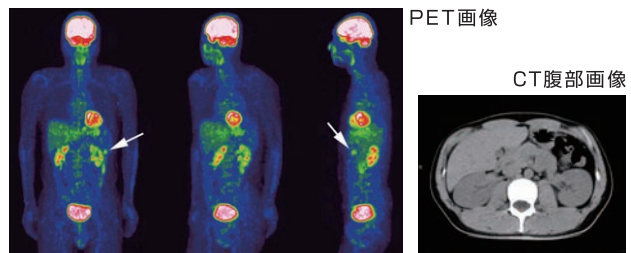
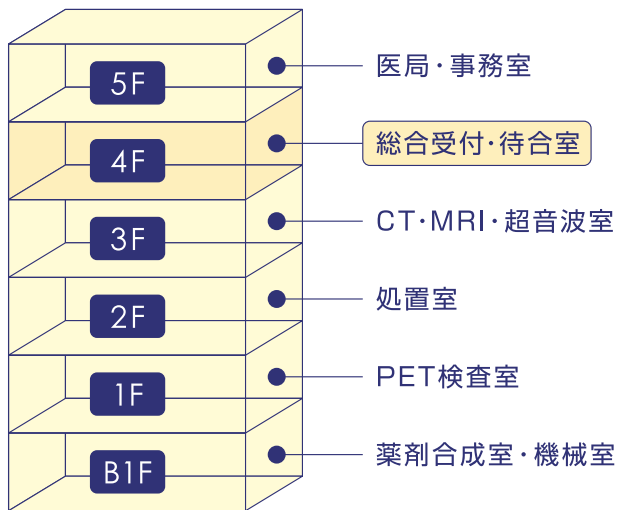
検診後は着替えて、結果が出るまで（50分ほど）4階の休憩室でゆっくりとお休み下さい。飲み物のほかサ



PET-CT



〈オプション〉
血液サラサラ



ンドイッチなどの軽食をお出ししております。

画像読影: 読影室にて、熟練した核医学専門医師が、PET検査・MRI検査・CT検査の画像を精密に診断いたします。

面談: 読影の診断を基にして4階の面談室で医師が検査画像を見ながら丁寧にご説明いたします。

- **所見は各専門分野の医師の分析による**
- **詳細な報告書です。アフターフォローも充実。**

検査結果郵送: 約2週間前後で、所見（検査結果報告書）を自宅に送付いたします。

アフターフォロー: 検査により、がんなどの異常（疑いも含む）が発見された場合は、当院のネットワークを活用して、治療に最も適した医師・医療機関（大学病院等）をご紹介します。また、がんとわかった時点から栄養・代謝療法を行う総合治療の指導も行っています。希望される方は当院受付へご連絡下さい。



MRI

- **過去の検診結果との比較で、**
- **より精度の高い診断が可能になります。**

検診で異常なしであっても、将来の健康を保証するものではありません。検診は定期的に継続することが重要です。また、過去の画像・データと比較することで、より精度の高い診断が可能になりますので、当院にて、検診を継続されることをお勧めいたします。

院長による「栄養・代謝療法」に基づく「食生活改善」の指導を受けられます。

（オプション：後日面談可能）

当院の「食生活改善指導」は、栄養・代謝療法を基本にしており、脳卒中、心筋梗塞などの多くの生活習慣病の予防・改善にも役立ちます。当院では、「健康管理」の一環として、未病対策としての食生活改善指導にも、皆様の期待にお応えできるよう、努力してまいります。



食事指導

検診コース(完全予約制)

プレミアムコース(がん総合+脳ドック) ▶ ￥237,000 (約5時間)

がん総合コースと脳ドックコースを組み合わせたすべての検査を、同日で行います。
遠方から来られる方、多忙な方々にお勧めのコースです。

がん総合コース ▶ **¥183,000** (面談あり
約4時間) **¥173,000** (面談なし
約3時間)

PETを用いて、全身の細胞の働き具合を調べることで、がんの有無や位置を調べるほか、MRIやCTを併用することで、がん発見の精度を高めた、最先端の画像診断コースです。
PET・MRI・CT・超音波・血液検査(44項目)

PET (Positron Emission Tomography): がん細胞が糖分を多量に消費する特性を利用して、がんを映し出す画像診断装置。全身を一度に撮影し、他の画像装置では発見しにくい転移も発見できる。がん細胞の活動状態を見るので、発育の早いがんの発見に有効。

脳ドックコース ▶ **¥59,000** (約2.5時間)

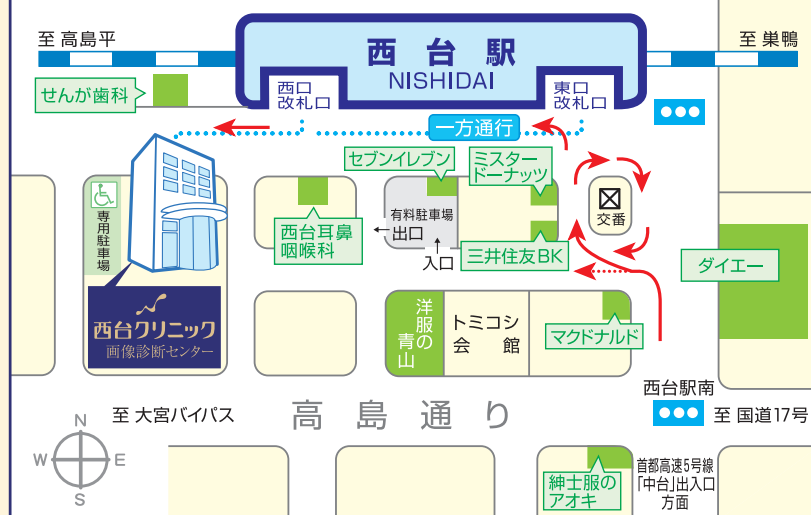
くも膜下出血の原因となる動脈瘤の有無や脳梗塞の原因となる頸動脈の動脈硬化の進行度を検査します。
MRI-MRA・頸動脈超音波・血液検査(37項目)

オプション

- 食生活改善指導…¥5,000 (がん食事療法指導 ¥10,000)
- 血液サラサラ…¥3,000

「西台クリニック画像診断センター」へのアクセス

- 都営三田線「西台駅」西口改札口より徒歩1分
東口改札口より徒歩3分



- 〔電車〕
都営三田線 西台駅までの目安時間

都内

- 大手町駅(都営三田線)→西台 約30分
- 巢鴨駅(都営三田線)→西台 約17分
- JR新宿駅(山手線)→巢鴨(都営三田線)
→西台 約35分
- JR東京駅(山手線)→巢鴨(都営三田線)
→西台 約40分

埼玉方面

- JR赤羽駅(埼京線)→JR池袋(山手線)
→巣鴨(都営三田線)→西台 約35分

神奈川方面

- 東急 日吉駅(都営三田線直通)→西台 約60分

千葉方面

- JR千葉駅(総武線)→水道橋(都営三田線)
→西台 約90分

- 〔車〕 首都高速5号線「中台」出口より、直進後、西台駅方面へお進み下さい。

● 検診のご予約・お問い合わせは

西台クリニック医療情報室 ▶ 03-5922-0703

〔受付時間〕月曜日～土曜日▶9:00～17:00（祝祭日を除く）